# 知の創出・活用特区(平成15年4月認定)

\*区域の範囲 = 京都市の全域

#### 京都の特性

市内37の大学・短期大学が所在 大学関係者の人口比率全国一位 全国有数のものづくり都市 21世紀産業振興ビジョン「京都市スーパー テクノシティ構想」(平成 14 年 3 月策定)

# 計画の目標

産学公の連携による研究開発の 促進・新事業の創出等を進め、地 域の活性化を図る。

## 目標の実現に向けた方向性

知の集積の活用

産学連携の促進

創業·第二創業 新事業創出の促進

大学発ベンチャーの創出

京都大学教員が関西TLOで兼業、

京都丁芸繊維大学教員が企業の取締役に就任

【具体的事業】 京大 V B L を国以外の者に使用許可,使用料金の減額

国立大学の教員は勤務時間内において兼業 できない

民間企業は、京大VBLの施設でないと試験 等が困難な場合しか施設の使用ができない 廉価使用の適用につき財務大臣への協議が必要

国立大学教員等の勤務時間内技術移転兼業事業 国立大学教員等の勤務時間内研究成果活用兼業事業

国の試験研究施設の使用手続きの迅速化事業 国の試験研究施設の使用の容易化事業 国の施設等の廉価使用の拡大による研究交流促進事業

活用

勤務時間内でも兼業が可能になることにより,民間事業 への円滑な技術移転が実現し,研究成果を活用した事業 化が一層促進されるとともに、大学発ベンチャー企業の 創出が加速される。

産学官連携促進に資する場合の国有施設等の使用許可,学長が 施設使用について許可,廉価使用について認定し,財務大臣に 報告するなどの使用手続・廉価使用の緩和により、産学公連携 における産業科学技術振興に大きく貢献し,新事業創出につな がる独創的な研究開発のスピード化が実現する。



京都大学ペンチャー・ビジネス・ラボラトリー

#### ~ 本特区において実施する特定事業の関連する本市の取組 ~

#### 京都バイオシティ構想

本市に集積するバイオテクノロジー分野の先進性・優位性を生かし、産学公連携 により京都の強みをいかした新産業分野として打ち出し、京都発展のための産業政 策,都市戦略とするための構想。

#### 重占3分野

医学と工学の融合分野(最先端技術の研究開発と事業化)

環境分野(生物機能を活用した循環産業システムの構築)

・出14 地域新生コンソーシアム研究開発事業「バイオマス繊維/生分解性プラスチックの界面肺(順西特合材料の開発)

・生分解性プラスチック魚箱を活用した社会実験

地域資源活用分野(蚕を活用した有用物質生産等)

バイオベンチャーへの支援: バイオ VIL (5室), 酒蔵バイオ VIL (8室)

バイオ産業技術フォーラムの設置

#### 京都ナノテク事業創成クラスター

京都市域においては、ナノテクノロジーを「ものづくり都市・京都」を形成する 基盤核技術と位置づけ、産学公の有機的な連携と知の結集により、電子デバイス、 医療・バイオ・繊維、IT等の分野での新事業創成を図る。

文部科学省事業(H14年度~.5億円×5年間 事務局: (脚京都高度技術研究所に設置) 産学協同研究

ナノテククラスターフォーラムの開催

ナノテクノロジーに関する情報交換,技術交流等を実施する産学公交流組織「KYO-NANO会」(会員数250名)の設置

### 桂イノベーションパーク構想

京都大学桂キャンパスの隣接地を「桂イノベーションパーク」と位置づけ、「京都 ナノテク事業創成クラスター」をはじめとする産学公連携による新産業の振興拠点 として整備する。

研究成果活用プラザの設置(平成 15年1月設置決定,平成 16年3月開設予定) 大学連携型インキュベータの設置(平成14年12月設置決定,平成16年度中に開設予定)